

令和 7 年度 いこま SDGs アクションネットワーク アドバイザー会議（第 1 回）

開催日時：令和 7 年 7 月 1 0 日（木） 13：30～15：00

開催場所：たけまるホール 研修室 4

出席者

（参加者）浦林直子氏、町矢真美氏、松田裕貴氏、濱田信吾氏

（事務局）SDGs・公民連携推進課長井川、SDGs・公民連携推進課主幹掛樋、SDGs 推進係員藤村

案件

議題 1 令和 6 年度のいこま SDGs アクションネットワークの取組に係る報告

事務局から昨年度の活動について報告

松田氏 くらしのブンカサイの来場者数の算出方法は。

事務局 リーフレット配布枚数などによる概算。

浦林氏 SDGs 推進事業補助金の当初の予算額に対する執行率は。

事務局 当初 5 件申請があったが、うち 1 件は台風の影響で中止したため、4 件実施。当初予算 200 万円に対して約 63 万円の執行。

浦林氏 執行率が悪いが、こういった見込みで予算額を算出したのか。

事務局 1 件あたり上限の 40 万円で計算し、前年度の実績も踏まえ 5 件を見込んでいた。
なお、運用中は事務局からも声掛けなど、積極的に活用を呼びかけていた。

浦林氏 補助事業の実施後の継続状況の把握はしているか。

事務局 こちらからは追いかけていない。

浦林氏 追跡や状況把握はしてもらいたい。令和 5 年度補助事業のいこま福祉会といこま里山クラブの竹の体験事業は継続して自己資金で取り組まれていると聞いている。

松田氏 令和 3 年度に実施した奈良先端大の学生によるトングの事業はその後、学生が起業し、自己資金で継続している。

事務局 令和 7 年 3 月の竜田川クリーンキャンペーンでも利用した。

松田氏 市としての取組の PR にもなるので、継続状況の把握はされてみては。
資料 8 ページの成果発表会の人数が少ないように感じるが、最近はこの規模なのか。

事務局 開催時間帯の問題なども感じているところ。ネットワークそのものへの会員の関心も薄くなってきているかもしれない。アドバイザーの皆様とも改善策を議論したい。

松田氏 横とのつながりを生み出せることが 1 つ大きな目的だと思う。
毎回同じ顔ぶれだと、現在の参加者にとっても魅力的ではない。

事務局 事務局としても課題と認識している。

町矢氏 補助金の実績報告を見ると、事業者が入っている事例が複数ある。もっと繋がって欲しいし、事務局には積極的につながるように働きかけてほしい。団体としては企業と繋がる機会は欲しいと思う。

事務局 今年度そういった部分にも寄与できる取り組みを進めていきたい。

濱田氏 会員数は当初よりは増えていると感じるが、イベントへの参加者は少ないと思う。企業と団体をつなげていくことは当初からのネットワークの狙いだが、それ自体は悪くない。大きいイベントだけではなく、小さめのイベントを開催してみるなど、会員が参加しやすいきっかけ作り、種まきが必要ではないか。これまでのやり方も残しつつ、違った切り口も用意すると良いと思う。

議題2 令和7年度のいこま SDGs アクションネットワークの運用

事務局から見直し内容について説明

町矢氏 いこま SDGs デリバリーは市がマッチングするものなのか。

事務局 直近で実施する JICA とオールサムの件は、市から双方に声掛けを行った。

町屋氏 参加費などを支払うしくみなのか。

事務局 これまで実施してきたものは、市が調整しているので、参加費も謝礼も発生していない。今回は市として依頼している形なので、謝礼を支払う。

いこま SDGs デリバリーのメニュー登録が少ないことは課題として認識している。周知の甘さ、実績の PR 不足、学校などとの関係作りなどの面で多くの課題がある。

浦林氏 市内学校には既に有意義なプログラムの蓄積があると思う。それを上回るにはそれなりの内容と実績が必要。

町矢氏 学童ではコンテンツに困っていると伺っている。昔と比べ、実施できる内容に制約が増えている。そういったところなら活用いただけないだろうか。

事務局 アンケートなどでも確認しているところ。関心がある企業と会話をしながら何か実現できるプログラムが無いか検討していきたい。

交流会もそういった繋がりが生まれるきっかけとしたい。インプットばかりでなく、何らかのアウトプットが生まれる仕組みを作りたい。

濱田氏 アクションネットワークの課題はだいたい抽出できてきていると感じる。ニーズはあるが、マッチングできていないという問題が浮き彫り。

市のアクションネットワークのサイトを確認してみた。たくさんの会員が参加していることは見て取れるが、それぞれの会員が何に取り組んでいるのかが見にくい。一目でわかる一覧のような形が良いのではないか。

一般社団法人大阪モノづくり観光推進協会が作成している「教育旅行用体感プログラム『モノづくりのまち東大阪まち工場の SDGs』」ページでは、カテゴリー別企業一覧もあるし、全情報を網羅したパンフレットも用意している。こういった形が分かりやすいと思うので参考にしてみてもいい。

事務局 ご指摘いただいたホームページの点は今年度に改修する予定。CMS の制約もあるが、出来る範囲で、会員の取組の見える化などを図りたい。

松田氏 スプレッドシートのようなツールを使って一覧にするのはどうか。課で管理している Excel のデータをコピペすればいいので手間も少ない。

事務局 管理方法などの問題もあるので、その兼ね合いも踏まえて良い方法を探っていきたい。

いこま SDGs アクションネットワークの今後の活動に向けて

事務局から今後の方向性について説明

事務局 交流会の企画など、アドバイザーの皆様のご意見もいただきながら考えていけたらと思っている。

随時意見を頂戴しながらこの制度をより良いものにしていきたい。

浦林氏 いこま SDGs アンバサダーというのはどういうものなのか。

事務局 生駒出身で SDGs に取り組む全国的にも注目されている方。発信力のある方なので、生駒市の取組の PR を手伝ってもらおう狙い。

進んでいない取組も多くある。見直しなども積極的に図っていきたい。

町矢氏 交流会などの集まる機会は、SDGs のゴールで集まるような形でも面白いのではないかな。

事務局 会員だけでなく、一般の人でもオープンに参加できる形も良いかもしれない。

浦林氏 アンケートの回答状況はどうか。

事務局 今まで積極的に関与してくれている会員からの回答が多い。興味はあるものの関わりかたが分からない方も一定数いるのではないかな。

ネットワークの運用等について、引き続きアドバイザーの皆様にご意見・ご協力をお願いしたい。